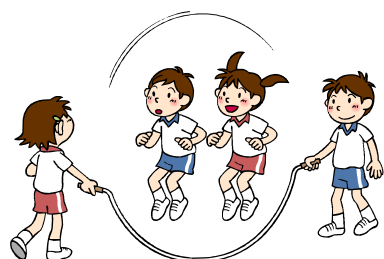


# 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説

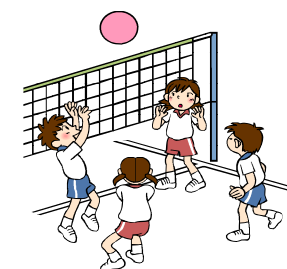
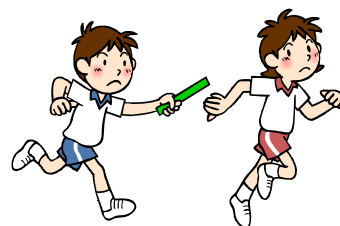
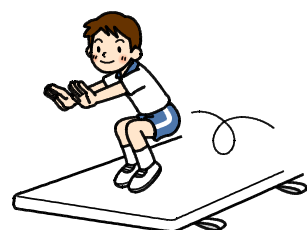
## 体 育 編

「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」

「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」



## 一 覧



# 目次

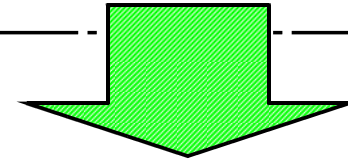
A	体づくり運動系	1
B	器械運動系	7
C	陸上運動系	1 4
D	水泳運動系	1 7
E	ボール運動系	2 2
F	表現運動系	2 7

# 小学校学習指導要領（平成29年告示） 解説 体育編

## 「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧



運動領域において運動が苦手な児童及び意欲的でない児童への配慮の例が示されたのはなぜだろう？



小学校学習指導要領解説体育編において、『全ての児童が、楽しく、安心して運動に取り組むことができるようにし、その結果として体力の向上につながる指導等の在り方について改善を図る。その際、特に、運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童への指導等の在り方について配慮する』ことが重視されたから。



### この資料の使い方のポイント

こんな使い方が  
できますよ。

- 児童がつまずきそうな例が具体的に示されているので、対処法（場，発問，補助運動等）を想定しあらかじめ準備ができる。
- 低，中，高の例が系統的に横並びで示してあるので，習得が困難な場合，前学年の内容を確認して指導することができる。
- 領域ごとに印刷製本をし，職員室や体育館等に保管しておくことで，全職員が目的に応じて使用することができる。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説体育編

「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」一覧

【A 体づくり運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
体づくりの運動遊び	体づくり運動	体づくり運動
<b>ア 体ほぐしの運動遊び</b>	<b>ア 体ほぐしの運動</b>	<b>ア 体ほぐしの運動</b>
	○ 伸び伸びとした動作で運動をすることが苦手な児童 ----- 低学年の体ほぐしの運動遊びで行った運動を繰り返し、なじみの深い簡単な運動を行ってみるなどの配慮をする。	
○ 心や体の変化に気付くことが苦手な児童 ----- 表情を表す絵や感情を表すカードを示し、自己の心や体の変化のイメージができるようにするなどの配慮をする。	○ 心や体の変化に気付くことが苦手な児童 ----- 気持ちや体の変化を表す言葉を示したり、問いかけたりし、自己の心や体の変化に合った言葉のイメージができるようにするなどの配慮をする。	○ 心や体の変化に気付くことが苦手な児童 ----- 二人組で気持ちや体の変化を話し合う場面をつくったり、運動を通して感じたことを確かめるような言葉がけをしたりするなどの配慮をする。
○ 友達と楽しく運動をすることが苦手な児童 ----- 友達とハイタッチや拍手で喜びを共有するなど、共に運動遊びをする楽しい雰囲気を実感することができるようにするなどの配慮をする。	○ 友達と関わり合いながら運動をすることが苦手な児童 ----- ペアやグループの組み方を考慮し、安心して活動に取り組めるようにするなどの配慮をする。	○ 仲間と関わり合いながら運動をすることが苦手な児童 ----- 協力や助け合いが必要になる運動を仕組み、仲間と共に運動をすることのよさが実感できるよう言葉がけをするなどの配慮をする。
<b>イ 多様な動きをつくる運動遊び</b>	<b>イ 多様な動きをつくる運動</b>	<b>イ 体の動きを高める運動</b>
(ア) 体のバランスをとる運動遊び	(ア) 体のバランスをとる運動	(ア) 体の柔らかさを高めるための運動
○ 回るなどの動きでバランスをとることが苦手な児童 ----- できそうなところに目印を置いて回ったり、軸になる足の位置に輪を置いたりするなど、回りやすくする場を設定するなどの配慮をする。	○ 片足を軸にして回りながら移動する動きが苦手な児童 ----- 片足で回ることを連続して行ったり、ケンケンパで半回転をしたりするなどの配慮をする。	
○ 足の裏を合わせて座った姿勢のまま転がって起きることが苦手な児童 ----- 補助を受けながら、体の重心をゆっくりと移動する動きを身に付けるようにするなどの配慮をする。		

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p>○ 二人組になって同時に座る，立つなどの動きが苦手な児童</p> <p>補助を受けながら単独での動きを試みるなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ 体のバランスを保つ動きが苦手な児童</p> <p>個別に行い方を説明したり，友達の行い方を見ながら真似をしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 渡るなどの動きが苦手な児童</p> <p>平面に描いた細い通路や，新聞紙や段ボールなどで作った用具を用いて，広さや高さを易しくした場づくりをするなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ バランスを保つ動きが苦手な児童</p> <p>一定の距離をケンケンで進んだり，バランスをとりながら単独で立ったりするなど，易しい動きを示すなどの配慮をする。</p>	<p>○ 体の各部位を伸ばしたり曲げたり，その姿勢を維持したりすることが苦手な児童</p> <p>息を吐きながら脱力をし，ゆっくりと体を伸展できるような言葉がけをするなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ 一定の空間をくぐり抜けたり，前屈して用具を操作したりすることが苦手な児童</p> <p>空間を広げたり，十分な前屈ができなくても操作しやすい用具を用いたりするなどの配慮をする。</p>
<b>(1) 体を移動する運動遊び</b>	<b>(1) 体を移動する運動</b>	<b>(1) 巧みな動きを高めるための運動</b>
<p>○ 様々な行い方で這ったり，歩いたり，走ったりすることが苦手な児童</p> <p>友達の行い方の真似をしたり，友達の後について行ったりするなど，体の動かし方が分かるようにするなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ 跳ぶ，はねるなどの動きが苦手な児童</p> <p>跳ぶ方向が分かるよう矢印を置いたり，はねた際に手でタッチできるように目印をぶら下げたりするなど，場や用具を準備するなどの配慮をする。</p>	<p>○ 這う，歩く，走るなどの動きが苦手な児童</p> <p>広い場所で前や後ろに移動したり，物や用具の間をゆっくりと移動したりするなど易しい条件で行うことができるようにするなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ いろいろな跳び方やはねる動きが苦手な児童</p> <p>できる動きやできそうなことを繰り返し行いながら，できる動きを徐々に増やせるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 人や物の動きに対応して動くことが苦手な児童</p> <p>動きをリードする児童が動作に合わせた言葉がけをしたり，ゆっくりとした動作をしたりするなどの配慮をする。</p>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	<p>○ 登る、下りるなどの動きが苦手な児童</p> <p>助木や登り棒等を目印を付け、段階的に挑戦していくことができるようにしたり、助木や登り棒の足元にマットを敷くなどにより、下りやすい場づくりをしたりするなどの配慮をする。</p>	
<p>○ 一定の速さでのかけ足が苦手な児童</p> <p>継続できる速さを助言したり、音楽に合わせるようにしたり、友達とかけ声を合わせながら走ったりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 一定の速さで続けて走ることが苦手な児童</p> <p>リズムよくしっかりと息を吐きながら、続けることができる速さで行うことを個別に助言するなどの配慮をする。</p>	<p><b>(I) 動きを持続する能力を高めるための運動</b></p> <p>○ 一定の時間続けて走ることが苦手な児童</p> <p>自己のペースで無理のない速さで走り、段階的に課題を設定するよう助言したり、息をしっかりと吐くことや、腕をリズムよく振ることができやすくなるよう個別に言葉がけをしたりするなどの配慮をする。</p>
<p><b>(ウ) 用具を操作する運動遊び</b></p>	<p><b>(ウ) 用具を操作する運動</b></p>	<p><b>(I) 巧みな動きを高めるための運動</b></p>
<p>○ 回す、転がすなど用具を操作することが苦手な児童</p> <p>ボールやフープなど用具の大きさ、柔らかさ、重さを変えて操作しやすくするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 用具をつかむ、転がす、投げるなどが苦手な児童</p> <p>用具の大きさや重さ、長さ、柔らかさなどを変えて動きを易しくするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 用具を操作する運動が苦手な児童</p> <p>器具・用具や行い方を変えながら繰り返し行い、易しい動きから徐々に動きが高まっていくようにするなどの配慮をする。</p>
<p>○ 用具を投げる、捕るなどの動きが苦手な児童</p> <p>新聞紙を丸めた球や新聞紙で作った棒、スポンジのボールなど、恐怖心を感じにくい用具を用いたり、紙鉄砲を用いた遊びを取り入れたりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 用具を捕ることが苦手な児童</p> <p>転がったり、弾んだりしたボールを捕るなど、易しい行い方にするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 用具を操作することが得意な児童</p> <p>苦手な児童に補助をしやすいよう、ペアやグループの編成の仕方を工夫するなどの配慮をする。</p>
<p>○ なわを跳んだり、くぐったりすることが苦手な児童</p> <p>跳び越す位置や動き方を示したり、かけ声によってタイミングを合わせることができるようになるようにしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 用具を跳ぶ動きが苦手な児童</p> <p>踵を上げて跳ぶことや手首の使い方がつかめるよう、用具を持たずにその場で跳んだり、弾みやすい場所で行ったりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 用具に乗るなどの動きが苦手な児童</p> <p>二人組や三人組で体を支えて補助をし合ったり、器具等につかまりながら進んだりするなどの配慮をする。</p>	

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<b>(I) 力試しの運動遊び</b>	<b>(I) 力試しの運動</b>	<b>(ウ) 力強い動きを高めるための運動</b>
<p>○ すもう遊びや力比べが苦手な児童</p> <p>力を入れたり緩めたりする行い方について助言したり，力を加減するタイミングをつかめるように声をかけたりするなどの配慮をする。</p>		<p>○ 押し，寄りをういてすもうをすることが苦手な児童</p> <p>膝を曲げて腰を低くして構えることや，足裏全体を使って進むことなどの基本的な動きを意識したり，体格が同じ程度の相手と繰り返して行い，安心して活動ができるようにしたりするなどの配慮をする。</p>
<p>○ 友達を引きずったり，おんぶをしたりする動きが苦手な児童</p> <p>補助を受けながら行ったり，動く距離を短くしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 人を押す，引く動きが苦手な児童</p> <p>膝を曲げて腰を低くした構えで，安定した姿勢で行えるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 人を持ち上げる，運ぶなどの動きが苦手な児童</p> <p>負担の少ない役割を果たすことから始め，徐々に力強い動きに挑戦できるようにするなどの配慮をする。</p>
<p>○ 体を支える動きが苦手な児童</p> <p>肘を曲げずに手の平で地面や床を押ししたり，目線を地面や床と平行にしたりすることができるよう助言するなどの配慮をする。</p>	<p>○ 人を運ぶ，支える動きが苦手な児童</p> <p>補助を受けながらゆっくりと動いたり，手のひらでしっかりと地面や床を押し付けたりして行うことができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 全身に力を込めて登り棒につかまったり，肋木や雲梯にぶら下がったりすることが苦手な児童</p> <p>わずかずつでもできたことを取り上げて称賛したり，足が届く程度の高さで繰り返し行うようにしたりするなどの配慮をする。</p>
	<p><b>(カ) 基本的な動きを組み合わせる運動</b></p> <p>○ 物を持ったりかっいだりして，バランスをとりながら移動することが苦手な児童</p> <p>物を持たずに移動，または小さい物を持って移動するなどの簡単な動きから始めるようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 回旋する長なわを跳びながらボールを操作することが苦手な児童</p> <p>止めた長なわを跳び越しながら操作したり，ボールを持ったまま回旋する長なわを跳んだりするなど，基本的な動きの習熟を図りながら組み合わせた動きに高めていけるようにするなどの配慮をする。</p>	

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	<p>○ ボールを投げ上げ、移動して捕ることが苦手な児童</p> <p>友達に投げ上げてもらったボールを移動して捕るなど、行い方を変えるなどの配慮をする。</p> <p>○ ペアになり、各々が立てたり回したりしたフープや棒をすばやく相手と場所を入れ替わって捕らえることが苦手な児童</p> <p>ペアとの距離を調整したり、易しいフープや棒を用いるなどの配慮をする。</p>	<p><b>(I) 動きを持続する能力を高めるための運動</b></p> <p>○ 短なわや長なわを用いて跳び続けることが苦手な児童</p> <p>自分が得意な跳び方で行い、自分に合ったペースで一定時間連続したり、中断しながらでも延べ回数を増やしたりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 一定の動きを繰り返しながら続けて行うことが苦手な児童</p> <p>リズムに合わせて動くことができるようBGMを利用したり、ペアやグループで一緒に動いたりすることができるようにするなどの配慮をする。</p>



「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧

【A 体づくり運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p><b>体づくりの運動遊び</b></p>	<p><b>体づくり運動</b></p>	<p><b>体づくり運動</b></p>
<p>◆ 体を動かすことを好まない児童</p> <p>-----</p> <p>教室から友達と手をつないで体育館や運動場に移動するなど、授業前から友達と関わりながら自然に運動遊びに加わっていくことができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 運動の行い方が分からないために意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>友達の様子を見ながら、その真似をして体を動かし徐々に運動に加わることができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 仲間との身体接触を嫌がる児童</p> <p>-----</p> <p>バトンやひもなどの用具を用いて触れ合う運動を工夫するなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 友達と関わり合うことに意欲的になれない児童</p> <p>-----</p> <p>ペアやグループで調子を合わせて動くことによって、気持ちも弾んでくるのが実感できる運動遊びを準備したり、意欲が感じられる児童のつぶやきや動きを取り上げて共感したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 友達と関わり合うことが苦手で運動に意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>意欲的に取り組む児童とペアやグループを組み、友達の動きに刺激を受けて一緒に様々な運動に挑戦できるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 仲間と共に活動することに意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>仲間と一緒に運動をすると楽しさが増すことを体験できるようにしたり、気持ちも弾んで心の状態が軽やかになることができるよう言葉がけをしたりするなどの配慮をする。</p>
	<p>◆ 運動への興味や関心がもてず意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>体を動かしたり、みんなで運動をしたりすることのよさを個別に語ったり、易しい運動の行い方や場の設定、BGMなど環境の工夫をし、少しでも取り組もうとする行動を称賛したり、励ましたりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 自己の課題を見付けることに意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>仲間の行い方を見て真似をしながら運動を行ったり、仲間に関心を持ってもらったりし、徐々に自己の課題を見付けていくことができるようにするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>◆ 課題の解決の仕方がわからないために運動に意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>自己の課題を仲間に伝え、仲間からの助言を受けたり、同じような課題をもっている仲間の行い方の真似をしたりすることができるよう、ペアやグループの編成の工夫を工夫するなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>◆ 達成感をもてないために運動に意欲的に取り組めない児童</p> <p>-----</p> <p>運動の記録をとるようにしたり、わずかな変化を見付けて称賛したりしながら、自己の体の動きが高まっていることに気付くことができるようにするなどの配慮をする。</p>

「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」一覧

【B 器械運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
器械・器具を使った運動遊び	器械運動	器械運動
<p><b>ア 固定施設を使った運動遊び</b></p> <p>○ ジャングルジムを使った運動遊びで、登ることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>低い場所に音の鳴る教具を付けることで登ることへの興味を喚起したり，低い場所を横に移動したりして，高さに慣れるようにするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ 雲梯を使った運動遊びで，体を揺らして移動することが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>体を支えて移動できるように補助をしたり，少し斜めを向いた姿勢で片手ずつ動かして移動できるように助言したりして，懸垂の姿勢と体の揺れを使って移動できる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ 登り棒を使った運動遊びで，足が滑って登ることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>ハチマキなどを巻いて節をつくり，足が滑らないようにするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ 肋木を使った運動遊びで，ぶら下がって移動することが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>足を上げてポーズをとったり，足を振ってみたりするなど，ぶら下がってできる運動遊びをしたり，手で支えて移動することが苦手な児童には，高さごとに色分けした場で，同じ色の高さを横に歩いたり，色の違う高さに登ったり移動したりできるようにして，取り組みやすい場にするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ 平均台を使った運動遊びで，バランスを保つことが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>床のライン上で姿勢よく体重移動ができるように歩いたり，高さのあるところでは手をつないだりするなどの配慮をする。</p>		

イ マットを使った運動遊び	ア マット運動	ア マット運動
<p>○ 前や後ろへ転がるのが苦手な児童</p> <p>体を丸めて揺れるゆりかごに取り組んだり、傾斜のある場で勢いよく転がるように取り組んだりして、転がるための体の動かし方が身に付くように練習の仕方や場を設定するなどの配慮をする。</p>	<p>○ 前転が苦手な児童</p> <p>ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びや、かえるの逆立ちなどの体を支える運動遊びに取り組んだり、傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくしたりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 易しい場での開脚前転が苦手な児童</p> <p>足が曲がらないように太ももに力を入れたり、両足を勢いよく振り下ろしてマットに接地したりして、足の伸ばし方や回転の勢いをつける動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 後転が苦手な児童</p> <p>ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びや、かえるの逆立ちなどの体を支える運動遊びに取り組んだり、傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくしたりして、腰を上げたり、体を支えたり、回転の勢いをつけたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 開脚後転が苦手な児童</p> <p>足を伸ばしたゆりかごで体を揺らしたり、かえるの逆立ちなどの体を支えたりする運動遊びに取り組んだり、傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくしたりして、足を伸ばしたり、腰を上げたり、体を支えたり、回転の勢いをつけたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 開脚前転が苦手な児童</p> <p>前転の起き上がる速さをつけたり、傾斜を利用したりして、勢いをつけて回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 補助倒立前転が苦手な児童</p> <p>壁倒立をしたり、跳び箱や台などの上に足を置き、逆さの姿勢からの前転を行ったり、壁登り逆立ちから補助を受けながら前転したりして、倒立の姿勢からの前転を行う動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 伸膝後転が苦手な児童</p> <p>足を伸ばしたゆりかごで体を揺らしたり、傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくしたりして、腰を上げたり、足を伸ばして回転の勢いを付けたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
<p>○ 手で体を支えて移動することが苦手な児童</p> <p>手や足を移動する場所や目線の先にマークを置くなどして、支持で移動できる体の動かし方が身に付くように教具や場を設定するなどの配慮をする。</p>	<p>○ 補助倒立ブリッジが苦手な児童</p> <p>壁登り逆立ちや背支持倒立（首倒立）などの逆さまで体を支える運動遊びに取り組んだり、ブリッジなどの体を反らす運動遊びに取り組んだりして、体を支えたり、逆さまで体を反らしたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 倒立ブリッジが苦手な児童</p> <p>壁登り逆立ちや壁倒立、ブリッジなどの逆さまで体を支える運動遊びや、体を反らす運動遊びに取り組んだりして、倒立したり、体を反らす動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>

	<p>○ 側方倒立回転が苦手な児童</p> <p>壁登り逆立ちや支持での川跳びなどの体を支えたり，逆さまになる運動遊びに取り組んだり，足を勢いよく振り上げるためにゴムなどを活用したり，補助を受けたりして，腰を伸ばした姿勢で回転できる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ ロンダートが苦手な児童</p> <p>手や足を着く場所が分かるように目印を置くなどして練習したり，側方倒立回転で足を勢いよく振り上げたりして，腰を伸ばした姿勢で体をひねる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 首はね起きが苦手な児童</p> <p>壁登り逆立ちや背支持倒立（首倒立）などの逆さまで体を支える運動遊びや，ブリッジなどの体を反らす運動遊びに取り組んだり，腰を上げた仰向けの姿勢からはねてブリッジをしたり，段差を利用して起き上がりやすくしたりして，逆さまで体を支えて体を反らしたり，手でマットを押したり，反動を利用して起き上がる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 頭はね起きが苦手な児童</p> <p>頭倒立や壁倒立などをしたり，首はね起きや頭倒立からブリッジなどに取り組んだり，また段差を利用して起き上がりやすくしたりして，逆さまで体を支え，体を反らし反動を利用して起き上がる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 壁倒立が苦手な児童</p> <p>肋木や壁を活用した運動遊びに取り組んだり，足を勢いよく振り上げるためにゴムなどを活用したりして，体を逆さまにして支えたり，足を勢いよく振り上げたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 補助倒立が苦手な児童</p> <p>壁登り逆立ちや壁倒立などをして，体を逆さまにして支えたり，足を振り上げたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 頭倒立が苦手な児童</p> <p>かえるの逆立ちや背支持倒立（首倒立）などの逆さまで体を支える運動遊びに取り組んだり，肋木，壁を活用した運動遊びに取り組んだりして，体を逆さまにして支える動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	

ウ 鉄棒を使った運動遊び	イ 鉄棒運動	イ 鉄棒運動
<p>○ 体を揺らすことが苦手な児童</p> <p>腕や頭を動かして反動をつけたり，補助を受けて体を軽く揺らしたりして，揺れるための体の動かし方が身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 鉄棒上で支えたりバランスをとることが苦手な児童</p> <p>伸ばす部位を助言したり，支持しているときの目線の先を示したりして，バランスをとる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p> <p>○ 跳び上がることが苦手な児童</p> <p>台などを設置して，支持や跳び上がりなどを行いやすい場を設定するなどの配慮をする。</p>		
<p>○ 回転することが苦手な児童</p> <p>腹を掛けて揺れたり，補助や補助具などを使って回転したりして，体を丸めて勢いよく回転する体の動かし方が身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 前回り下りが苦手な児童</p> <p>ふとん干しなどの鉄棒に腹を掛けて揺れる運動遊びに取り組んだり，補助を受けて回転しやすくしたりして，勢いのつけ方や体を丸めて鉄棒から離さない動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	
	<p>○ かかえ込み前回りが苦手な児童</p> <p>ふとん干しの姿勢から足を抱えて揺れたり，支持の姿勢からふとん干しを繰り返したりするなどの鉄棒に腹を掛けて揺れる運動遊びに取り組んだり，補助や補助具で回転しやすくしたりして，勢いのつけ方や体を丸めて鉄棒から離さない動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 前方支持回転が苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢からふとん干しを繰り返したり，補助や補助具で回転しやすくしたりして，勢いのつけ方や体を丸めて鉄棒から離さない動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 転向前下りが苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢から鉄棒上に片足を掛けて座ったり，台などを設置して足を台上につけて行ったりして，バランスをとる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 片足踏み越し下りが苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢から鉄棒上に片足を掛けて座ったり，ツバメの姿勢で鉄棒上を横に移動したり，片手ずつ順手から逆手，逆手から順手に握りかえるなどの運動に取り組んだりして，バランスをとって鉄棒上で体を操作するための動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>

	<p>○ 膝掛け振り上がりが苦手な児童</p> <p>片膝を掛けて大きく振れるように、補助を受けて回転したり、鉄棒に補助具をつけて回転しやすいようにしたりして、振りの勢いを利用して起き上がる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 膝掛け上がりが苦手な児童</p> <p>両手でぶら下がって体を前後に揺らしたり、片膝を掛けて大きく揺らしたり、足抜き回りなどの運動遊びに取り組み、補助を受けて回転したり、鉄棒に補助具をつけて回転しやすいようにしたりして、片膝を掛け振りの勢いを利用して上がる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 前方片膝掛け回転が苦手な児童</p> <p>鉄棒上に片足を掛けて座ったり、鉄棒に片膝を掛けて揺れたりして、バランスをとって回転を開始する姿勢をつくったり、体を揺らしてから振りの動きを利用して回転したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 前方もも掛け回転が苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢から鉄棒上に片足を掛けて座ったり、鉄棒に片膝を掛けて揺れたりするなど、バランスをとって回転を開始する姿勢をつくったり、体を揺らしてから振りの動きを利用して回転したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 補助逆上がりが苦手な児童</p> <p>ダンゴムシや足抜き回り、ふとん干しから支持の姿勢を繰り返すなどの運動遊びに取り組み、体を鉄棒に引きつけたり、回転したり、腹支持から起き上がる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 逆上がりが苦手な児童</p> <p>体を鉄棒に引きつける運動に取り組み、補助や補助具を利用して足を振り上げながら後方回転をしたりして、体を上昇させながら鉄棒に引きつけ回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ かかえ込み後ろ回りが苦手な児童</p> <p>ふとん干しの姿勢で揺れたり、ふとん干しの姿勢から足を抱えて揺れたりするなどの鉄棒に腹を掛けて揺れる運動遊びに取り組み、補助や補助具で回転しやすくしたりして、勢いのつけ方や体を丸めて鉄棒から離さない動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 後方支持回転が苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢で足を前後に振って体を曲げたり、補助や補助具で回転しやすくしたりして、勢いのつけ方や体を丸めて回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 後方片膝掛け回転が苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢から鉄棒上に片足を掛けて座って反対側の足を振ったり、鉄棒に片膝を掛けて揺れたりして、バランスをとって回転を開始する姿勢をつくったり、体を揺らしてから振りの動きを利用して回転したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 後方もも掛け回転が苦手な児童</p> <p>ツバメの姿勢から鉄棒上に片足を掛けて座ったり、片足を鉄棒から離したりしながら反対側の足を振ったり、また鉄棒に片膝を掛けて揺れたりするなど、バランスをとって回転を開始する姿勢をつくったり、体を揺らしてから振りの動きを利用して回転したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 両膝掛け倒立下りが苦手な児童</p> <p>こうもりで揺れたり、足抜き回りなどで鉄棒に足を掛けて逆さまでぶら下がったり、揺れたり、懸垂の姿勢から前後に回転したりする運動遊びに取り組み、逆さまで体を動かしたり、鉄棒に足を掛けたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 両膝掛け振動下りが苦手な児童</p> <p>両膝を掛けて体を揺らしたり、前を見て両膝を外したりする動きが身に付くように、こうもりで腕や頭を使って体を前後に揺らして前を見たり、二人の補助者と手をつないで体を前後に軽く揺らしながら前を見たりする運動に取り組み、組めるようにするなどの配慮をする。</p>

エ 跳び箱を使った運動遊び	イ 跳び箱運動	イ 跳び箱運動
<p>○ 踏み越し跳びや手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下り、手を着いての跳び乗りや跳び下りが苦手な児童</p> <p>高さを低くしたり、跳び箱の手前に台を置いて跳び乗りやすくしたりして、手で支えたり、跳んだりする動きが身に付くように場を設定するなどの配慮をする。</p>		
<p>○ 馬跳びやタイヤ跳びが苦手な児童</p> <p>床でうさぎ跳びやかえるの足打ち、かえるの逆立ちなどを行い、手で支えたり、跳んだりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 開脚跳びが苦手な児童</p> <p>マットを数枚重ねた上に跳び箱1段を置いて、手を着きやすくしたり、跳び越しやすくしたりして、踏切り-着手-着地までの動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	
	<p>○ 台上前転が苦手な児童</p> <p>マットを数枚重ねた場で前転したり、マット上にテープなどで跳び箱と同じ幅にラインを引いて、速さのある前転をしたり、真っ直ぐ回転する前転をしたりして、腰を上げて回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ かかえ込み跳びが苦手な児童</p> <p>マットを数枚重ねた場を設置して、手を着きやすくしたり、跳び越しやすくしたり、体育館のステージに向かって跳び乗ったりして、跳び越しやすい場で踏切り-着手-着地までの動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
	<p>○ 首はね跳びが苦手な児童</p> <p>マットを数枚重ねた場や低く設置した跳び箱、ステージなどを利用して体を反らせてブリッジをしたり、場をつくった段差と補助を利用して首はね起きを行ったりしながら、体を反らしてはねたり、手で押したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 伸膝台上前転が苦手な児童</p> <p>マットを数枚重ねた場や低く設置した跳び箱で腰を上げたり、速さのある前転をしたりして、膝を伸ばして回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>
		<p>○ 頭はね跳びが苦手な児童</p> <p>マットを数枚重ねた場や低く設置した跳び箱、ステージを利用して体を反らせてブリッジをしたり、場をつくった段差と補助を利用して頭はね起きを行ったりしながら、体を反らしてはねたり、手で押したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。</p>

「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧

【B 器械運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
器械・器具を使っの運動遊び	器械運動	器械運動
<p>◆ 怖くて運動遊びに取り組めない児童</p> <p>器械・器具の高さを変えたり、痛くないように配慮した場を設定したりして、条件を変えた場を複数設定して選択できるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 技への恐怖心がある児童</p> <p>落ちて痛くないようにマットを敷いたり、回転しやすいように鉄棒に補助具を付けたりして、場を工夫するなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 痛みへの不安感や技への恐怖心をもつ児童</p> <p>ぶつかったり、落ちたりしても痛くないように、器械・器具の横や下などにマットを敷いたり、補助者を付けたりする場を設定するなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 自信がもてない児童</p> <p>成功回数が増える簡単な運動遊びを取り入れたり、できたことを称賛したりして、肯定的な働きかけができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 技への不安感がある児童</p> <p>必要な体の動かし方や運動感覚が身に付くように、低学年で学習した運動遊びに取り組み場を設定するなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 技に対する苦手意識が強い児童</p> <p>必要な体の動かし方や運動感覚が身に付くように、取り組む技と類似した動き方をする運動遊びに取り組む時間や場を設定するなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 恥ずかしがる児童</p> <p>二人組で手をつないで跳び下りたり、集団で転がったりできる運動遊びを取り入れたりして、友達と一緒に運動遊びをする楽しさに触れることができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 技に繰り返し取り組もうとしない児童</p> <p>着地位置に目印を置いて自己評価をできるようにしたり、ゲーム化した運動遊びにグループで取り組めるようにしたりするなどの配慮をする。</p>	
	<p>◆ 友達とうまく関わって学習することができない児童</p> <p>手や足の位置に目印を置いたり、回数を数えたりする役割ができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 仲間とうまく関わって学習を進めることが難しい児童</p> <p>技を観察するポイントや位置を示し、気付いたことなどを仲間に伝える時間や場を設定するなどの配慮をする。</p>
		<p>◆ 既に基本的な技を安定して行えるようになった児童</p> <p>発展技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、新たな課題に取り組むことができる時間や場を設定するなどの配慮をする。</p>



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説体育編

「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」一覧

【C 陸上運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動
<b>ア 走の運動遊び</b>	<b>ア かけっこ・リレー</b>	<b>ア 短距離走・リレー</b>
○ かけっこで、リズムよく走ることが苦手な児童 一定のリズム，速いリズムなど，いろいろなリズムで走ったり，レーン上に目印を置いて，分かりやすいレーンを設定したりするなどの配慮をする。	○ かけっこで，スタートが苦手な児童 立った姿勢からだけでなくいろいろな姿勢から素早く走ったり，スタート位置を変えて競走したりするなどの配慮をする。	○ 短距離走で，素早いスタートが苦手な児童 構えた際に前に置いた足に重心をかけ，低い姿勢で構えるといったポイントを示すなどの配慮をする。
○ リレー遊びで，バトンを上手に渡したり受けたりすることが苦手な児童 手で相手の背中にタッチしたり，迎えタッチにしたりするなど，タッチの仕方を変えたり，受渡しがしやすくなるように形状の異なるバトン（リング状のバトン等）を用いるなどの配慮をする。	○ 周回リレーで，タイミングよくバトンを受渡すことが苦手な児童 追いかけて走やコーナー走で受渡しをするなどの配慮をする。	○ リレーで，減速せずにバトンの受渡しをすることが苦手な児童 「ハイ」の声をしっかりかけたり，バトンを受ける手の位置や高さ確かめたり，仲間同士でスタートマークの位置確かめたりするなどの配慮をする。
	<b>イ 小型ハードル走</b>	<b>イ ハードル走</b>
○ 低い障害物を走り越える運動遊びで，最後まで走り越えることが苦手な児童 障害物を置く間隔や高さを変えるなどの配慮をする。	○ 一定のリズムで小型ハードルを走り越えることが苦手な児童 インターバルの異なる複数のレーンを設定し選べるようにしたり，いろいろな材質の小型ハードル（ゴムを張った小型ハードルや段ボールを用いたハードル等）を使用したりするなどの配慮をする。	○ 走り越える時に体のバランスを取ることが苦手な児童 1歩ハードル走や短いインターバルでの3歩ハードル走で，体を大きく素早く動かしながら走り越える場を設定するなどの配慮をする。
		○ 一定の歩数でハードルを走り越えることが苦手な児童 3歩または5歩で走り越えることができるインターバルを選んでいるかを仲間と確かめたり，インターバル走のリズムを意識できるレーン（レーン上に輪を置く等）を設けたりするなどの配慮をする。

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<b>イ 跳の運動遊び</b>	<b>ウ 幅跳び</b>	<b>ウ 走り幅跳び</b>
○ 幅跳び遊びで、上手に跳ぶことができない児童 ----- 足を置く位置の目印として輪を置き、リズムカルに跳ぶことのできる場を設定するなどの配慮をする。		
○ ケンパー跳び遊びで、上手に跳ぶことができない児童 ----- 「グー」と「パー」が分かりやすい目印をレーン上に設定し、足を置く順番やリズムが分かるようにするなどの配慮をする。	○ 踏切り足が定まらず、強く前方へ跳ぶことが苦手な児童 ----- 3～5歩など、短い助走による幅跳びをしたり、「トン・トン・ト・ト・トン」など、一定のリズムの助走からの幅跳びを行ったりする場を設定するなどの配慮をする。	○ リズムカルな助走から踏み切ることが苦手な児童 ----- 5～7歩程度の助走からの走り幅跳びや跳び箱などの台から踏み切る場などで、力強く踏み切って体が浮くことを経験できるようにしたり、「トン・トン・ト・ト・トン」など、一定のリズムを声に出しながら踏み切る場を設定したりするなどの配慮をする。
	<b>エ 高跳び</b>	<b>エ 走り高跳び</b>
○ ゴム跳び遊びで、高く跳ぶことやしっかりジャンプをすることが苦手な児童 ----- 高さを変えたり、跳ぶ時のリズムを決めたりするなどの配慮をする。	○ 踏切り足が定まらず、強く上方へ跳ぶことが苦手な児童 ----- 3歩など、短い助走による高跳びをしたり、「トン・トン・ト・ト・トン」など、一定のリズムの助走からの高跳びを行ったりする場を設定するなどの配慮をする。	○ リズムカルな助走から踏み切ることが苦手な児童 ----- 3～5歩程度の短い助走での走り高跳びや跳び箱などの台から踏み切る場などで、力強く踏み切って体が浮くことを経験できるようにしたり、「トン・トン・ト・ト・トン」など、一定のリズムを声に出しながら踏み切る場を設定したりするなどの配慮をする。

「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧

【C 陸上運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p align="center"><b>走・跳の運動遊び</b></p>	<p align="center"><b>走・跳の運動</b></p>	<p align="center"><b>陸上運動</b></p>
<p>◆ かけっこでの競走など、競走（争）を好まない児童</p>	<p>◆ かけっこ・リレーでの競走など、競走（争）に対して意欲的に取り組めない児童</p>	<p>◆ リレーに意欲的に取り組めない児童</p>
<p>-----</p> <p>いろいろな走り方や跳び方で勝敗を競わずに楽しめる場を設定したり、行い方を工夫したりするなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p> <p>いろいろな走り方・跳び方で活動する場を設定したり、勝敗のルールを工夫したりするなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p> <p>チーム内で一人一人の走る距離を変えたり、勝敗を競うのではなく目標記録に近づくことを課題としたリレーを行ったりするなどの配慮をする。</p>
<p>-----</p>	<p>◆ 高跳びのスタンドやバーが当たることへの恐怖心がある児童</p>	<p>◆ ハードルにぶつかることへの恐怖心がある児童</p>
<p>-----</p>	<p>-----</p> <p>友達が持つゴムひもを跳ぶようにするなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p> <p>ハードルの板をゴムや新聞紙を折りたたんだものやスポンジ製のものに変えるなどの配慮をする。</p>
<p>-----</p>	<p>-----</p>	<p>◆ ハードルのインターバルの歩数がうまく合わないために、自己の課題に意欲的に取り組めない児童</p>
<p>-----</p>	<p>-----</p>	<p>-----</p> <p>インターバルの歩数を決めてから場を選ぶなど、自己の能力に適した練習の場や課題の選択ができるようにしたり、同じような課題をもつ仲間と協力して練習できるようにしたりするなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 最後までうまく走ったり跳んだりできないなど、達成感を味わうことが難しい児童</p>	<p>◆ 課題が易しすぎたり難しすぎたりして、うまく走ったり跳んだりできずに達成感を味わうことができない児童</p>	<p>-----</p>
<p>-----</p> <p>易しい場や課題を複数準備するなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p> <p>一つの場だけでなく、速さ、距離を変えるなど、易しい課題や複数の課題を設定するなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p>
<p>◆ 友達同士でうまく関わり合うことができない児童</p>	<p>◆ リレーのバトンの受渡しの練習の場面などで、友達同士でうまく関わり合うことができない児童</p>	<p>◆ リレーの作戦について考える場面や走り高跳びのグループ競争の仕方を決める場面などで、自己の意見をうまく伝えられなかったり、仲間とうまく関わるできない児童</p>
<p>-----</p> <p>見合いや教え合いなど、互いに関わり合いながら学習をするようにしたり、友達同士で学習の成果を認め合ったりする機会を設定するなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p> <p>互いに見合い、教え合いをする学習の仕組みや、振り返りの場面などで、友達同士で学習の成果を認め合うようにするなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p>
<p>◆ 対人関係をうまく保つことができない児童</p>	<p>-----</p>	<p>-----</p>
<p>-----</p> <p>児童の伸びや友達との関わり方を教師が積極的に称賛するなどの配慮をする。</p>	<p>-----</p>	<p>-----</p> <p>話合いや振り返りの際に、学習カードを用いて仲間同士で新たな課題を出し合ったり、学習の成果を確認したりする場面を設定するなどの配慮をする。</p>

「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」一覧

【D 水泳運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
水遊び	水泳運動	水泳運動
<p><b>ア 水の中を移動する運動遊び</b></p>		
<p>○ 水かけっこで、顔に水がかかることが苦手な児童</p> <p>背中合わせになったり、友達との距離を広げたりするなど、遊び方を工夫するなどの配慮をする。</p>		
<p>○ まねっこ遊び（ワニ）で、水面に対して体を水平にした姿勢になり手だけで歩くことが苦手な児童</p> <p>より浅い場所で歩いたり、しゃがんだ姿勢でゆっくりと移動したりするなど、段階的な遊び方を工夫するなどの配慮をする。</p>		
<p>○ 電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊びで、水の抵抗や浮力の影響で歩いたり走ったりすることが苦手な児童</p> <p>友達の後ろに続いて移動したり、手で水を力強くかいたりすることを助言するなどの配慮をする。</p>		
	<p><b>ア 浮いて進む運動</b></p>	
	<p>○ け伸びで、体を一直線に伸ばすことが苦手な児童</p> <p>補助具や友達の手につかまり、大きく息を吸って伏し浮きの姿勢になるまで待つように助言したり、体を伸ばした状態になったところを友達に引っ張ってもらったりするなどの配慮をする。</p>	
	<p>○ け伸びで、プールの底や壁を力強く蹴ることが苦手な児童</p> <p>水の中に体を十分に沈め、膝を曲げて体を小さく縮めてから底や壁を蹴るように助言したり、け伸びで進む距離を友達と競争したり自己の記録を伸ばしたりする場を設定したりするなどの配慮をする。</p>	

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	<p>○ 初歩的な泳ぎで、手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせることが苦手な児童</p> <p>陸上で動きのイメージができる言葉「伸びて、イーチ・ニー・サーン（手で水をかいたり、足を動かしたりして）、ブハ！（息をまとめて吐く）、伸びて」とともにタイミングを確認する場を設定したり、友達にゆっくりと引っ張ってもらいながら息継ぎのタイミングを声かけしてもらったりするなどの配慮をする。</p>	
<p><b>イ もぐる・浮く運動遊び</b></p>	<p><b>イ もぐる・浮く運動</b></p>	
<p>○ もぐる遊びで、水に顔をつけることが苦手な児童</p> <p>少しずつ顔に水がかかるようにシャワーを浴びたり、顎→口→鼻→目へと徐々に水につける部分を増やしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ プールの底にタッチをする際、浮力の影響でもぐることが苦手な児童</p> <p>息を吐きながらもぐることや手や足を大きく使うことを助言したり、水深が浅い場を設定したりするなどの配慮をする。</p>	
<p>○ もぐる遊びで、水の浮力を受け、輪をくぐる手が苦手な児童</p> <p>輪の深さや数を変えたり、二人組でつくった手のトンネルをくぐったりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ いろいろなもぐり方をする際、もぐり方を変えることが苦手な児童</p> <p>友達ともぐり方の真似をし合う場を設定したり、陸上でできる動きを水の中でできないかを助言したりするなどの配慮をする。</p>	
<p>○ 浮く遊びで、足が沈み、伏し浮きをすることが苦手な児童</p> <p>息を大きく吸って止めたり、顎を引いて頭を水の中につけたり、無駄な力を抜いて体を真っ直ぐにしたりすることを助言するなどの配慮をする。</p>	<p>○ だるま浮きで、体を小さく縮めることが苦手な児童</p> <p>両膝を抱え込まずに持つ程度にした簡単な方法に挑戦することや、膝を抱えると一度は沈むがゆっくりと浮いてくることを助言するなどの配慮をする。</p> <p>○ 背浮きで、腰が沈まないようにして浮くことが苦手な児童</p> <p>補助具が体から離れないようにしっかり抱えて浮くように助言したり、友達に背中や腰を支えてもらう場を設定したりするなどの配慮をする。</p>	

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p>○ バブリングで、水中で息を吐くことが苦手な児童</p> <p>手の平にすくった水を吹き飛ばしたり、水面に浮いたものを吐いた息で移動させたりするなど、顔をつけずに息をまとめて強く吐くことのできる遊びをするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 変身浮きで、浮き方を変えることが苦手な児童</p> <p>一つの浮き方で浮いている時間を延ばしたり、「つぼみがだんだん開いて、またしぼんでいく」などお話づくりで変身していくイメージをもって挑戦したりする場を設定するなどの配慮をする。</p>	
<p>○ ボビングで、動きと呼吸のリズムを合わせることが苦手な児童</p> <p>友達と手をつないで一緒にボビングをするなどの場を設定したり、「プクプクプク（弱く吐く）、ブハ！（水面を出たら大きく強くまとめて吐く）、スゥー（すぐに吸う）」などの呼吸のリズムのイメージができる言葉を助言したりするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 連続したボビングが苦手な児童</p> <p>低学年で扱った呼吸のリズムを再度確認したり、友達と手をつないでボビングをしたりする場を設定するなどの配慮をする。</p>	<p><b>ア クロール</b></p>
		<p>○ 前方に伸ばした手が下がり、手のかきに呼吸を合わせることが苦手な児童</p>
		<p>両手を必ず前方で揃えてから片手ずつかくための練習をする場や、仲間に手を引っ張ってもらいより前方に手を伸ばす練習をする場を設定したり、補助具をおさえる手に力を入れすぎないように助言したりするなどの配慮をする。</p>
		<p>○ 頭が前方に上がり、横向きの息継ぎが苦手な児童</p> <p>歩きながら息継ぎの練習をする場を設定したり、へそを見るようにして顎を引き、耳まで浸かって息継ぎをするように助言したりするなどの配慮をする。</p>
		<p>○ 手や足をゆっくりと動かすことが苦手な児童</p> <p>一定の距離を少ないストローク数で泳ぐ場や、決められたストローク数で泳ぐ距離を仲間と競い合う場を設定するなどの配慮をする。</p>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
		<p><b>イ 平泳ぎ</b></p> <p>○ かえる足の動きが苦手な児童</p> <p>プールサイドに腰かけて足の内側で水を挟む動きだけを練習したり、壁や補助具につかまって仲間に足を支えてもらい練習したりする場を設定するなどの配慮をする。</p> <p>○ 手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせることが苦手な児童</p> <p>陸上で動きの確認をする場を設定したり、水中を歩きながら仲間が息継ぎのタイミングを助言したりするなどの配慮をする。</p> <p>○ キックの後にすぐ手をかいてしまい、伸びることが苦手な児童</p> <p>け伸びをしてから「かいて、蹴る」動きを繰り返すことを仲間と確かめ合ったり、「かいて、蹴って、伸びる」の一連の動作をしたら一度立つように助言し、少ないストローク数で泳ぐ距離を伸ばす場を設定したりするなどの配慮をする。</p> <p><b>ウ 安全確保につながる運動</b></p> <p>○ 背浮きの姿勢での呼吸を続けることが苦手な児童</p> <p>浅い場所で踵を付けたまま背浮きになる姿勢の練習をしたり、補助具を胸に抱えたり、仲間に頭や腰を支えてもらったりして続けて浮く練習をしたりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 浮き沈みの動きに合わせた呼吸をすることが苦手な児童</p> <p>体が自然に浮いてくるまで待つから息継ぎをすることや、頭を大きく上げるのではなく首をゆっくりと動かし呼吸することを助言するなどの配慮をする。</p>

「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧

【D 水泳運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p align="center"><b>水遊び</b></p>	<p align="center"><b>水泳運動</b></p>	<p align="center"><b>水泳運動</b></p>
<p>◆ 水に対する恐怖心がある児童</p> <p>安全面からもペアでの学習（ボディシステム）を取り入れ、友達と一緒に水遊びの楽しさに触れることができるようにしたり、水慣れの時間を十分に確保したり、少しでもできたことを称賛したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 水に対する恐怖心や違和感を抱く児童</p> <p>低学年での水遊びを単元や授業の始めに取り入れたり、ゲーム的な要素のある運動をしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 水に対する恐怖心や違和感を抱く児童</p> <p>すぐに泳法の練習を行うのではなく、もぐったり浮いたりしながら呼吸の仕方について確認する場を設定するなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 友達と一緒に水遊びをすることを好まない児童</p> <p>友達と協力して一緒に取り組む水遊びを紹介したり、友達同士で互いの動きのよさを認め合う機会を設定したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 友達と練習することが苦手な児童</p> <p>自己の能力に適した距離や時間等の明確な目標をもって挑戦する場を設定し、その成果を友達と見合ったり、友達と課題を一緒に解決する活動を取り入れたりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 仲間とうまく関わりながら学習を進めることが苦手な児童</p> <p>ペアやグループ編成を工夫したり、その児童の伸びや仲間との関わり成果を仲間同士で積極的に認める場を設定したり、仲間と一緒に達成する課題を設定したりするなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 既に初歩的な泳ぎを身に付けている児童</p> <p>ワニ歩きで頭までつかりながら行うよう助言し、その動きのよさを全体に伝えたり、石拾いで石の数や色を指定して（連続して行うボビングの回数を指定して）児童にとってより適した課題を提示したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 既にクロールや平泳ぎができる児童</p> <p>け伸びの距離をより伸ばすことを助言したり、いろいろなもぐり方をする場面で腹や背中をプールの底に付けたり逆立ちや連続回転をしたりすることを助言したりするなど、挑戦する課題を提示するなどの配慮をする。</p>	<p>◆ クロールや平泳ぎが50m以上泳ぐことができる児童</p> <p>設定した距離をより少ないストローク数で泳ぐことに挑戦する場を設定したり、いろいろな泳ぎ方で競うリレーを取り入れたりするなどの配慮をする。</p>



「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」一覧

【E ボール運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
ゲーム	ゲーム	ボール運動
<p><b>ア ボールゲーム</b></p> <p>○ ボールを捕ったり止めたりすることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>柔らかいボールを用いたり，空気を少し抜いたボールを用いたりするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ ボールが飛んだり，転がったりしてくるコースに入ることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>柔らかいボールを用い，1対1でゴールを守る練習をしたりするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ ボールの勢いに怖さを感じる児童</p> <p>-----</p> <p>柔らかいボールを用いたり，速さの出にくい軽いボールを用いたりするなどの配慮をする。</p>		
	<p><b>ア ゴール型ゲーム</b></p> <p>○ パスを出したり，シュートをしたりすることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>ボールを保持する条件を易しくするとともに，ボールを保持した際に周囲の状況が確認できるように言葉がけを工夫するなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>守る者の位置を見るように言葉がけを工夫するなどの配慮をする。</p>	<p><b>ア ゴール型</b></p> <p>○ 得点しやすい場所に移動し，パスを受けてシュートなどをすることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>シュートが入りやすい場所に目印を付けたり，ボールを保持した際に最初にゴールを見ることを助言したりするなどの配慮をする。</p> <p>-----</p> <p>○ ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることが苦手な児童</p> <p>-----</p> <p>仲間がゴールの位置を教えるようにするなどの配慮をする。</p>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	<p><b>イ ネット型ゲーム</b></p> <p>○ いろいろな高さのボールを片手、両手もしくは用具を使ってはじいたり、打ちつけたりすることが苦手な児童</p> <p>飛んできたボールをキャッチして打つことを認めるなどの配慮をする。</p> <p>○ ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることが苦手な児童</p> <p>プレイできるバウンド数を多くしたり、飛んできたボールをキャッチしてラリーを継続したりするなどの配慮をする。</p>	<p><b>イ ネット型</b></p> <p>○ 片手、両手もしくは用具を使って、相手コートにボールを打ち返すことが苦手な児童</p> <p>飛んできたボールを短時間保持することを認めたり、うまくはじくことができる児童と比較してどこが違うか考えたりする場を設定するなどの配慮をする。</p> <p>○ 自陣のコート（中央付近）から相手コートに向けサーブを打ち入れることが苦手な児童</p> <p>手を使って投げ入れたり、軽い用具や柄の短い用具を用いたり、軽いボールを用いたり、一歩前からサーブをすることを認めたり、ネットの高さを低くしたりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 味方が受けやすいようにボールをつなぐことが苦手な児童</p> <p>飛んできたボールをキャッチしてパスしたりすることができるようにするなどの配慮をする。</p>
	<p><b>ウ ベースボール型ゲーム</b></p> <p>○ ボールをフェアグラウンド内に蹴ったり打ったりすることが苦手な児童</p> <p>大きなボールや軽いボールを用いたり、手や大きなバット、軽いバット、ラケットなどを用いて打ったり、静止したボールを蹴ったり打ったりすることができるようにするなどの配慮をする。</p>	<p><b>ウ ベースボール型</b></p>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
	<p>○ 投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げるのが苦手な児童</p> <hr/> <p>的当てゲームを取り入れたり、紙鉄砲やタオルを用いて遊ぶ場を設定したりして、投げる動きが自然に身に付くような練習をするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 打球方向に移動し、捕球することが苦手な児童</p> <hr/> <p>ゆっくりと投げられたボールを移動して手に当てる練習を工夫したり、柔らかいボールを素手で捕る練習を工夫したりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 守備の隊形をとって得点を与えないようにすることが苦手な児童</p> <hr/> <p>チーム練習の中で守備位置やその役割を確認したり、互いに言葉がけをしたりするなどの配慮をする。</p>
<p><b>イ 鬼遊び</b></p>		
<p>○ 鬼になってなかなか捕まえない児童</p>		
<p>短い時間で鬼を交代したり、逃げる場所を制限したり、逃げる場所を狭くしたりするなどの配慮をする。</p>		
<p>○ 鬼から逃げるのが苦手な児童</p>		
<p>安全地帯を設けたり、鬼の人数を一人から徐々に増やしたり、鬼でない児童の人数を増やしたりするなどの配慮をする。</p>		
<p>○ 宝取り鬼で、相手の陣地から宝をとるのが苦手な児童</p>		
<p>宝を置く場所や宝の数を増やしたり、鬼の人数を一人から徐々に増やしたり、宝を取りやすいように陣地の形を変えたりするなどの配慮をする。</p>		
<p>○ ボール運び鬼で、相手の陣地にボールを運ぶのが苦手な児童</p>		
<p>チーム内での役割が分かるようにしたり、攻めと守りが入り交じる場を制限したり、守りの人数を減らしたり、ボールを運ぶ側の人数を増やしたりするなどの配慮をする。</p>		

「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧

【E ボール運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
ゲーム	ゲーム	ボール運動
<p>◆ ボールを捕ることや用具を用いて打つことに対する恐怖心などでボールゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>柔らかいボールを用意したり，大きなボールやゆっくりとした速さになるボールを用意したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ ボールが固くて恐怖心を抱いたり，小さくて操作しにくかったりするために，ゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>柔らかいボールを用意したり，大きなボールやゆっくりとした速さになる軽めのボールを用意したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 味方や相手が投げるボールに恐怖心を抱くためにゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>柔らかいボールを用意したり，大きなボールやゆっくりとした速さになるボールを用意したりするなどの配慮をする。</p>
<p>◆ ゲーム中に何をすればよいのかが分からないなどで，ボールゲームや鬼遊びに意欲的に取り組めない児童</p> <p>行い方や課題を絵図で説明したり，活動内容を掲示したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 学習の仕方が分からないために，ゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>学習への取組の手順を掲示物で確認できるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ チームの中で何をすればよいかが分からないためにゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>チーム内で分担する役割を確認するなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 場や規則が難しいなどで，ボールゲームや鬼遊びに意欲的に取り組めない児童</p> <p>場の設定や規則を易しくして児童が取り組みやすくするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 場や規則が難しいと感じ，ゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>文字やイラスト等を用いて掲示しながら説明したり，より易しい規則に変更したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 場やルールが難しいためにゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>場の設定やルールをチームで一つずつ確認するなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 新しく提示した動きやゲームが分からないなどでボールゲームや鬼遊びに意欲的に取り組めない児童</p> <p>動きをゆっくりと示したり，一緒にそのチームに入ってゲームをしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 新しく提示した動きが分からないために，ゲームや練習に意欲的に取り組めない児童</p> <p>よい動きの友達やチームを観察したり，掲示物などの具体物を用いて説明したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 新しく提示した動きが分からないためにゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>代表の児童やチームが行う見本を観察したり，ゲーム中のポジションを確認したり，その動きを動画で確認したりする場を設定するなどの配慮をする。</p> <p>◆ 技能が高いにもかかわらずゲームに意欲的に取り組めない児童</p> <p>リーダーとしてチームをまとめるようにしたり，仲間への動きのアドバイスを担うようにしたりするなどの配慮をする。</p>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p>◆ ゲームに勝てなかったり、鬼に捕まりやすかったりするなどでボールゲームや鬼遊びに意欲的に取り組めない児童</p>	<p>◆ 審判の判定に納得しなかったり、ゲームに勝てなかったりすることで、ゲームに意欲的に取り組めない児童</p>	<p>◆ ゲームに負け続けるためにゲームや練習に意欲的に取り組めない児童</p>
<p>勝敗を受け入れることが大切であることを話したり、安全地帯など場の設定を工夫したりするなどの配慮をする。</p>	<p>判定に従うことやフェアなプレイの大切さについて、継続して伝えていくようにするなどの配慮をする。</p>	<p>チームに合った作戦を選び直したり、新たな作戦を試したりすることを促すなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 友達とうまく関われないためにボールゲームや鬼遊びに意欲的に取り組めない児童</p>	<p>◆ ゲームに参加している実感がなく、楽しさを味わえない児童</p>	<p>◆ チーム内で仲間とうまく関わることができないためにゲームに意欲的に取り組めない児童</p>
<p>対戦相手を変えたり、チーム編成を工夫したりするなどの配慮をする。</p>	<p>チームの人数を少なくして、役割を明確にしたり触球回数を増やせるようにしたりするなどの配慮をする。</p>	<p>チーム内の役割を明確にしたり、その役割に取り組むように助言したりするなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 友達と仲よくゲームに取り組めない児童</p>	<p>◆ 友達と仲よくゲームに取り組めない児童</p> <p>試合の前後に相手や味方同士で挨拶や握手を交わしたり、相手や味方同士でよいプレイや取組を称賛したりするなどの配慮をする。</p>	<p>◆ 仲間と仲よく助け合ってゲームに取り組めない児童</p> <p>役割を果たしたこと、最後まで全力でプレイしたこと、味方を励ます言葉がけがあったことなどの取組を、授業のまとめで取り上げて称賛したり、児童が相互に称え合ったりする場面を設定するなどの配慮をする。</p>

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説体育編

「運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」一覧

【F 表現運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
表現リズム遊び	表現運動	表現運動
ア 表現遊び	ア 表現	ア 表現
<p>○ 題材の特徴を捉えて踊ることが苦手な児童</p> <p>ねじったり回ったり，跳んだり転がったりして全身の動きで特徴を捉えている友達の動きを見合い，真似をすることができるなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ 続けて踊ることが苦手な児童</p> <p>「大変だ！○○だ！」の複数の例示から選べるようにするなどの配慮をする。</p>	<p>○ 題材の特徴を捉えることが苦手な児童</p> <p>題材の多様な場面を絵や文字で描いたカードをめくりながら動くなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ 動きの誇張や変化の付け方が苦手な児童</p> <p>動きに差を付けて誇張したり，急変する動きで変化を付けたりして踊っている友達の動きを見合い，真似をするようにするなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ ひと流れの動きにすることが苦手な児童</p> <p>気に入った様子を中心に，動きが急変する場面の例を複数挙げて動いてみるなどの配慮をする。</p>	<p>○ 題材の特徴を捉えることが苦手な児童</p> <p>二人から四人組などで，題材の特徴的な様子や動きを出し合いながら踊ってみるなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ ひと流れの動きにすることが苦手な児童</p> <p>表したい感じやイメージから捉えた変化とメリハリ（緩急・強弱）のある動きを，教師や仲間のリードで幾つか一緒に踊ってみるなどの配慮をする。</p> <hr/> <p>○ 簡単なひとまとまりの動きにすることが難しい児童</p> <p>一番表したい感じやイメージを明確にするとともに，できたところまでを通して踊ってみながら，表したい感じにふさわしい「はじめーなかーおわり」の構成になっているか教師や他のグループに見てもらおうなどの配慮をする。</p>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<b>イ リズム遊び</b>	<b>イ リズムダンス</b>	
<p>○ リズムに乗って踊ることが苦手な児童</p> <p>友達や教師の動きの真似をしながら、リズムに合わせてスキップで弾んだり、かけ声や手拍子を入れたりして踊るなどの配慮をする。</p>	<p>○ リズムの特徴を捉えて踊ることが苦手な児童</p> <p>リズムに合わせて手拍子をしたり、リズムを表す言葉がけをしながら踊ったりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 動きに変化を付けて踊ることが苦手な児童</p> <p>曲のリズムに同調するだけでなく、動きやリズムに変化を付けた動きで踊っている友達の動きを見て、真似をするようにするなどの配慮をする。</p>	
<p>○ 友達と関わって踊ることが苦手な児童</p> <p>教師を含めた数人で手をつなぎ、簡単な動きで弾んだり、回ったり、移動したりして一緒に踊るなどの配慮をする。</p>	<p>○ 友達と関わって踊ることが苦手な児童</p> <p>二人組で向かい合って手をつなぎ、スキップで弾んだり、回ったり、動きの真似をし合うようにしたりするなどの配慮をする。</p>	<p><b>イ フォークダンス（日本の民踊を含む）</b></p> <p>○ 踊ることが苦手な児童</p> <p>低学年で既習した簡単な踊りや、前時に学習した踊りを授業の導入で行うなどの配慮をする。</p> <p>○ 踊りの特徴を捉えて踊ることが苦手な児童</p> <p>踊りの由来や背景を伝えたり、映像を見て踊りのイメージを捉えたりするなどの配慮をする。</p> <p>○ 踊り方を身に付けることが苦手な児童</p> <p>教師が曲を口ずさみながら全体を大まかに通して踊り、難しいところは部分練習をするなどの配慮をする。</p>

「運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」一覧

【F 表現運動系】

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
表現リズム遊び	表現運動	表現運動
<p>◆ 題材から表したい様子や動きを思い浮かべること に意欲的に取り組めない児童</p> <p>単元の導入でその題材に関連する絵本や図鑑などを提示し、題材についての興味や関心を高めるなどの配慮をする。</p>		<p>◆ 仲間の前で表現やフォークダンスを行うことに意欲的に取り組めない児童</p> <p>授業の導入で、中学年のリズムダンスで学習したへそ（体幹部）を中心に軽快なリズムに乗って踊る活動を取り入れ、心と体をほぐすなどの配慮をする。</p>
<p>◆ 題材から表したい様子や動きを思い浮かべること に意欲的に取り組めない児童</p> <p>単元の導入でその題材に関連する絵本や図鑑などを提示し、題材についての興味や関心を高めるなどの配慮をする。</p>		<p>◆ 表したい感じやイメージを表現することに意欲的に 取り組めない児童</p> <p>取り上げる題材を、クラス共通の題材だけでなく、個人やグループの関心や能力の違いに応じて選ぶようにするなどの配慮をする。</p>
<p>◆ リズムに乗って踊ることに意欲的に取り組めない児童</p>	<p>◆ 踊ることに意欲的に取り組めない児童</p>	<p>◆ 日本の民踊や外国のフォークダンスを踊ることに意欲的に 取り組めない児童</p>
<p>その児童にとって身近で関心があり、自然に体を弾ませ たくなるような選曲をするなどの配慮をする。</p>	<p>授業の導入で、みんなで円形などになり、顔を見合わせな がら軽快なリズムに乗って弾んだり手拍子をしたりして、心 と体をほぐすなどの配慮をする。</p> <p>◆ 友達と関わりながら踊ることに意欲的に取り組めない児 童</p> <p>友達と組んでできる簡単な動きを示した中から選べるよう にするなどの配慮をする。</p>	<p>身近な郷土の民踊や外国のフォークダンスの映像を見せ て興味・関心をもてるようにしたり、踊りに必要な簡単な 小道具や衣装を着けて踊りの雰囲気高めたりするなどの 配慮をする。</p>